



日本化学工業株式会社

2026年3月期 第3四半期 連結業績概要

- 1 2026年3月期 第3四半期決算状況
- 2 2026年3月期 連結業績見通し

2026年2月10日

日本化学工業株式会社 4092

© Nippon Chemical Industrial Co., Ltd.

26年3月期 第3四半期 実績

売上高：304億円、営業利益：19億円

- 成長分野の電子セラミック材料で車載向け、通信向けの販売数量が増加も、電池材料における販売単価の下落や、ホスフィン誘導体や燐製品における売上数量の減少等により、売上高は前年同期並み
- 前年度に発生した棚卸資産の評価損の減少効果が剥落したことや、生産拠点の集約に伴う費用の発生などにより、営業利益は減少。売上構成の変化も影響

26年3月期 見通し

売上高：405億円、営業利益：32億円（据え置き）

- 売上高は概ね想定通りに推移も、利益は下振れ
- 政策保有株式売却により特別利益を計上する見込み
- 4Q市況に不透明感があるも、こうした状況を踏まえ通期予想は据え置き

その他

- 今年度末までを取得期間とし、260百万円を上限とする自己株式の取得を決定
- 戦略的な材料開発体制を強化し、製品競争力を高める取り組みを推進

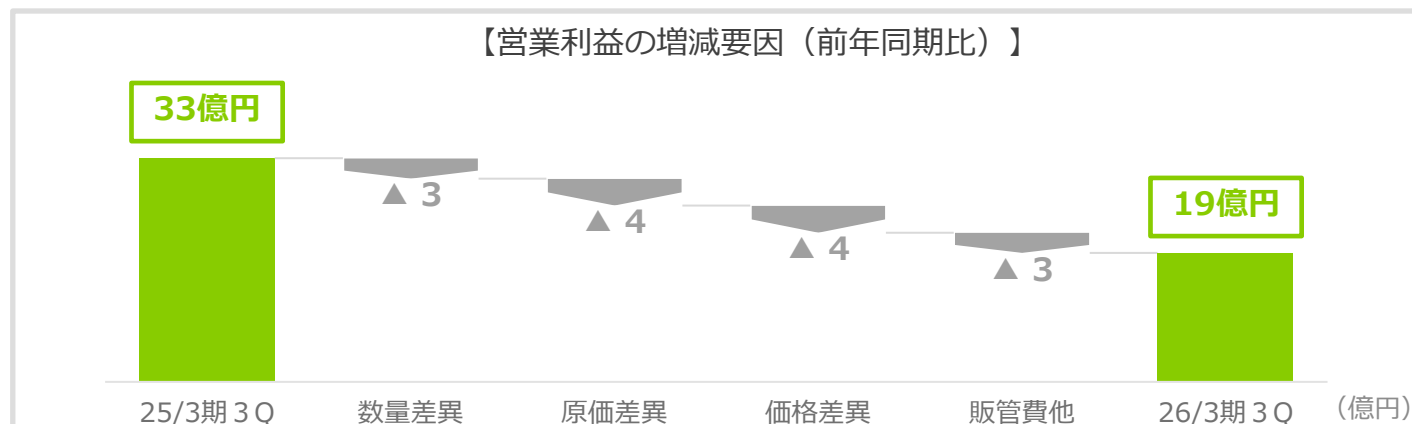
1

2026年3月期 第3四半期決算状況

2026年3月期 第3四半期 決算状況

(百万円)	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	増減	増減率
売上高	30,871	30,442	▲ 429	▲ 1.4%
営業利益	3,353	1,987	▲ 1,366	▲ 40.7%
営業利益率	10.9%	6.5%	▲4.4pt	
経常利益	3,360	1,975	▲ 1,385	▲ 41.2%
純利益	2,346	1,835	▲ 511	▲ 21.8%
EBITDA [※]	6,103	4,826	▲ 1,277	▲ 20.9%
1株あたり利益 (円)	265.92	209.80	-	-

※EBITDAは簡易版を使用（営業利益＋減価償却費）



2026年3月期 第3四半期 事業別の収益

(百万円)		2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	増減	増減率
化学品	売上	13,928	13,515	▲ 412	▲ 3.0%
	営業利益	1,286	1,092	▲ 194	▲ 15.1%
機能品	売上	15,637	15,991	353	2.3%
	営業利益	1,610	434	▲ 1,176	▲ 73.0%
賃貸	売上	686	704	18	2.6%
	営業利益	411	414	3	0.7%
その他	売上	618	230	▲ 388	▲ 62.8%
	営業利益	25	26	1	4.0%
合計	売上	30,871	30,442	▲ 429	▲ 1.4%
	営業利益	3,353	1,987	▲ 1,366	▲ 40.7%

2026年3月期 第3四半期 化学品事業

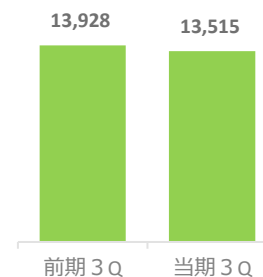
(百万円)	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	増減	増減率
クロム製品	4,154	4,134	▲ 20	▲ 0.5%
シリカ製品	1,780	1,789	9	0.5%
りん製品	5,180	4,929	▲ 251	▲ 4.8%
その他	2,813	2,662	▲ 151	▲ 5.4%
合計	13,928	13,515	▲ 412	▲ 3.0%

◆クロム製品：めっき向け堅調

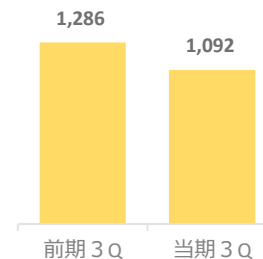
◆シリカ製品：堅調

◆りん製品：一般工業向けで低調

売上高



営業利益



2026年3月期 第3四半期 機能品事業

(百万円)	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	増減	増減率
電子セラミック材料 計	7,188	8,109	921	12.8%
有機機能材料 計	3,548	3,168	▲ 380	▲ 10.7%
電池・電子デバイス材料 計	3,854	3,448	▲ 406	▲ 10.5%
その他	1,045	1,264	219	21.0%
合計	15,637	15,991	353	2.3%

◆電子セラミック材料：車載向け好調、通信向け大幅伸長

◆有機機能材料

- ホスフィン誘導体：海外向け触媒や量子ドット向けが大幅伸長、
有機合成用触媒原料が大幅落ち込み

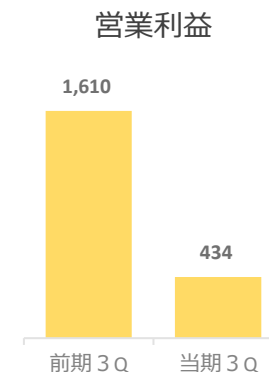
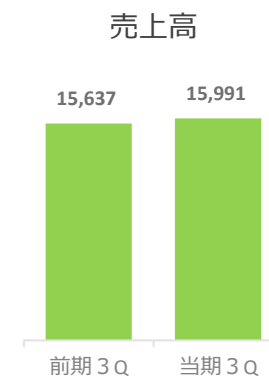
- 農薬原体：主要顧客向けが好調

◆電池・電子デバイス材料

- 電池材料：資源価格の下落

- 回路材料：異方性導電材料向け低調、接着剤向け大幅落ち込み

- 高純度電子材料：半導体向けで需要回復



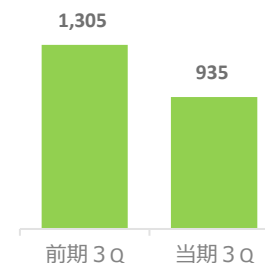
2026年3月期 第3四半期 賃貸・その他事業

(百万円)	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	増減	増減率
賃貸	686	704	18	2.6%
書店経営	404	-	▲ 404	-
その他	214	230	16	7.5%
合計	1,305	935	▲ 370	▲ 28.4%

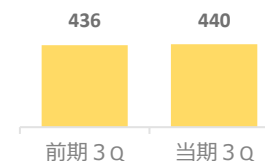
◆賃貸：主要テナント堅調

※書店経営は前年度に事業撤退を行いました

売上高



営業利益



財政状態

(百万円)	2025年3月末	2025年12月末	増減	主な増減要因
流動資産	31,448	33,192	1,744	売掛金2,246、棚卸資産▲580
固定資産	43,656	45,199	1,543	有形53、投資有価証券1,501
資産合計	75,105	78,392	3,287	
流動負債	20,106	22,434	2,328	短期借入2,250
固定負債	8,602	7,748	▲ 854	長期借入▲1,187
負債合計	28,709	30,182	1,473	
株主資本	41,267	42,216	949	利益剰余金897
その他の包括利益累計額	5,128	5,992	864	その他有価証券評価差額金1,046
純資産合計	46,395	48,209	1,813	
負債純資産合計	75,105	78,392	3,287	
自己資本比率 (%)	61.8%	61.5%	▲0.3pt	D/Eレシオの目安：0.4倍程度

2

2026年3月期 連結業績見通し

◆通期業績予想を据え置き

- ・第3四半期累計は、売上高は概ね想定通りも、利益は下振れ
- ・政策保有株式売却により特別利益を計上する見込み
- ・第4四半期は、電子部品業界の市場環境に不透明感があるものの、これらの状況を総合的に踏まえ、通期予想は据え置き

(百万円)	通期見通し (8/7公表)	3Q累計実績	進捗率
売上高	40,500	30,442	75.2%
営業利益	3,200	1,987	62.1%
経常利益	3,200	1,975	61.7%
純利益	2,600	1,835	70.6%

2026年3月期 連結業績見通し

通期業績予想は据え置き

(8/7公表)

(百万円)	2025年3月期 実績	2026年3月期 見通し	増減	増減率
売上高	38,843	40,500	1,656	4.3%
営業利益	3,342	3,200	▲ 142	▲ 4.3%
営業利益率	8.6%	7.9%	▲0.7pt	
経常利益	3,199	3,200	0	0.0%
純利益	2,559	2,600	41	1.6%
EBITDA [※]	6,924	7,100	176	2.5%
ROE	5.6%	5.5%	▲0.1pt	-
1株あたり利益 (円)	290.62	297.63	-	-
配当金 (円)	中間 : 46円 期末 : 46円 年間 : 92円	中間 : 60円 期末 : 60円 年間 : 120円	-	-
設備投資額	4,966	5,500	534	10.8%
減価償却費	3,582	3,900	318	8.9%
研究開発費	1,598	1,500	▲ 98	▲ 6.1%
為替 (¥/\$)	152	145		

※EBITDAは簡易版を使用（営業利益＋減価償却費）

安定的かつ継続した配当を重視し、DOEおよび総還元性向を指標として、株主還元の強化を図ります。

配当方針（2025～2026年度）

総還元性向40% または DOE2% のいずれか高い方

を基準に、安定的かつ継続して配当を行う

配当金

- 年間配当予想を引き上げ（1株当たり106円→120円）
（2025年8月発表）

自己株式取得

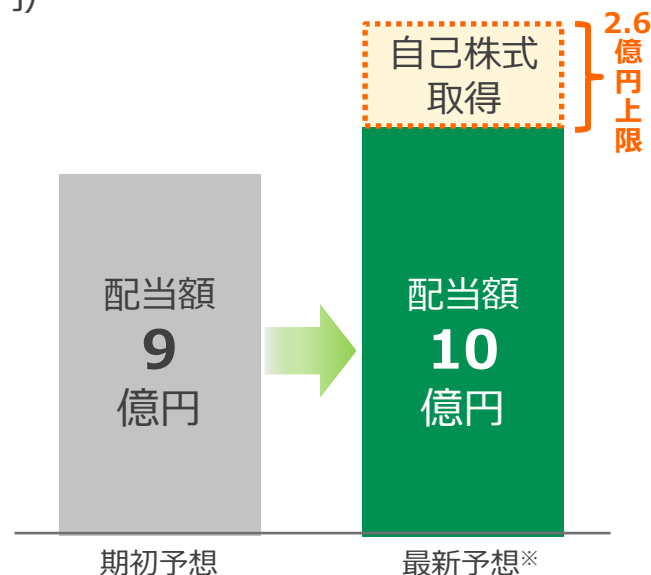
- 上限：10万株・2.6億円
- 実施期間：2026年3月末まで
（2025年12月発表）

株主還元の充実に向けた取り組み

- 2025～2026年度の方針にDOEを導入
- 株主の皆様へ信頼性の高い還元を提供
- 自己株取得を含め、株主還元の充実化を推進

<株主還元総額>

2026年3月期



※最新予想は2025年8月の配当予想の修正、2025年12月の自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせを反映



日本化学

本資料に記載されている業績予想や事業計画は、当社が現在入手可能な情報および一定の前提条件に基づいて作成したものであり、将来の当社業績を保証するものではありません。様々な要因により、実際の業績等は異なる可能性があります。

投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願い致します。